【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【公開番号】特開2010-28335(P2010-28335A)
【公開日】平成22年2月4日(2010.2.4)
【年通号数】公開・登録公報2010-005
【出願番号】特願2008-185670(P2008-185670)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｂ　5/32　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/09　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｂ　5/32　Ａ
Ｈ０３Ｂ　5/32　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　41/08　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　41/08　Ｋ
Ｈ０１Ｌ　41/18　１０１Ａ
Ｈ０１Ｌ　41/08　Ｕ

【手続補正書】
【提出日】平成23年7月12日(2011.7.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
圧電振動子と発振用トランジスタとを有するコルピッツ型発振回路であって、
前記発振用トランジスタのエミッタと接地間に接続した抵抗値が負の温度係数を有する第１の抵抗回路を備えたことを特徴とするコルピッツ型発振回路。
【請求項２】
前記第１の抵抗回路は、エミッタ抵抗と第１のサーミスタの並列回路からなることを特徴とする請求項１に記載のコルピッツ型発振回路。
【請求項３】
前記第１の抵抗回路は、エミッタ抵抗に、第１のサーミスタと第１の抵抗との直列回路を並列に接続したことを特徴とする請求項１に記載のコルピッツ型発振回路。
【請求項４】
請求項１乃至３に記載のコルピッツ型発振回路を備えたことを特徴とする圧電発振器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】コルピッツ型発振回路および圧電発振器